

平成25年12月6日

# 教育委員会からの提言

島田市教育委員会 教育委員長 高橋典子

マスコミで学力問題が大きく取り上げられ、小学生の学力に不安を感じた方は多かったと思います。小学校の国語 A の結果は重く受け止めなくてはなりません。対症療法的に過去の問題を練習して結果が良くなっても、将来の生きる力となって働く学力につながるかは心配です。そこで、島田市教育委員会は、意欲的に学習する子どもを育てるために、下記のように提言します。

市内のすべての学校と家庭が信頼関係の中で連携すれば、子どもたちの成長の可能性は大きくなり、学力の向上にも必ず効果が表れると信じます。

## 記

### 1 学校でも家庭でも子どもの小さな頑張りや成長をしっかりほめましょう。

- 結果をほめた子どもと頑張りをもめた子どもでは、頑張りをもめた子どもの方が3割も学力が向上し、難しい問題への挑戦意欲も高いという研究事例もあるそうです。結果だけに目を向けるより、頑張りや成長に目を向けてください。たくさんほめられた子どもの方が自分に自信を持ち、成長の可能性が大きくなります。

### 2 失敗やできなかったことを叱るより、これからどうすべきかを考えさせましょう。

- 失敗を財産とすることが大切です。叱るより失敗を乗り越えるための目標を持たせることが成長につながります。子どもに考えさせ、子どもに決めさせると、『やらされた』から『自らやる』に意識が変わります。失敗の原因を他に転嫁しないようにしましょう。
- できなかったこととやらなかったことは違います。できなくても挑戦した意欲は認めましょう。

〈 学力向上委員会の報告につきましては、裏面をご参照ください 〉

## 島田市の学力向上委員会報告

### 1 全国学力学習状況調査の結果

小学生の学力は、国語 A において県平均を下回る学校が多かったものの、国語 B 及び算数 A・B においては、県平均とほぼ変わらないという結果でした。一方、中学校は、国語・数学とも全国平均とほぼ同じ結果でした。しかし、小学校国語では、後半に無回答が多いという事実も明らかになりました。

この調査では、小中学校ともテレビの視聴やゲームの時間など生活習慣が、学力と関係しているとの結果も出ています。

### 2 今後の対策

島田市教育委員会では、学力向上委員会(委員長：島田第三小学校長 宮村久美子)において細かい分析を行い、今後の対策及び指導の着眼点を各学校に示しました。今後、各学校はこの分析や自校の分析を踏まえた対策案を保護者に示します。

基本的にこれまでの教育方法を変えるわけではありませんが、下記の 3 点をこれまで以上に大切にしていきます。

#### 記

- ① 授業のねらいや学習の成果を明確にします。
  - ・ 学習問題などを分かりやすく提示します。
  - ・ 学習の定着を確認するため、授業の振り返り（学習のまとめ）を大切にします。
- ② 学習の流れが分かるように工夫します。
  - ・ 授業の流れがよく分かる板書に心がけます。
  - ・ 授業の流れや自分の学習を振り返ることができるノートづくりを大切にします。
- ③ 学びの定着のために家庭学習を充実します。
  - ・ 宿題の出し方を工夫します。
  - ・ 家庭学習の確認は家庭と学校の両方で行います。



〈 保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします 〉